

【 2022 年度事業報告 】

自 2022 年 4 月 1 日

至 2023 年 3 月 31 日

概 要

2022 年度の世界経済は歴史的な高インフレに直面した。2月にロシアがウクライナに侵攻して以降、世界の分断が供給制約を深め、食品やエネルギーなどの高騰に拍車がかかった。各国・地域の中央銀行がインフレ退治でこぞって急ピッチの利上げに動いた結果、景気後退の観測も強まった。新型コロナウイルス禍からの回復が進むという年初時点の楽観的な見通しは外れた。日本経済は、欧米との金利差に起因する 1990 年以來の円安が加わり、エネルギー及び資源価格の一層の上昇があった。また、サプライチェーンの混乱により、部材や部品のリードタイムが長期化し生産活動の障害となった。新型コロナウイルス禍からの回復は第 7 波、第 8 波の曲折を乗り越えて徐々に進展した。

2022 年度の当会の事業活動は、正常化へ向けて持続的で大きな一歩を踏み出した。6 月の定時総会は少数の会員の出席のもとで行い、9 月の表面処理資機材生産・販売統計調査検討会は Web により行ったが、11 月の経営研修会、3 月の三部会交流会は対面で開催し、3 年振りに意義の深い交流の場を持つことができた。理事会・委員会においても Web から対面での開催が試みられた。SURTECH 2023 (2 月 1~3 日 ; 東京ビックサイト東 5 ホール) では出展は少なかったものの、次年度に向けて出展の雰囲気醸成された。

- ・ 理事会を 6 回開催し、主要な事業について審議した。ウィズコロナの方針のもと各事業の対面での開催を決定し活性化に寄与した。

委員会の主な活動の概要は次の通りであった。

- ・ 総務委員会を 6 回開催した。各部会と共同で表面処理資機材の生産・販売動向を調査し、調査内容を統計検討会で発表し機材工誌 2022 年秋季号に掲載した。11 月に経営研修会を開催し山神孝志氏 (株式会社クボタ) の講演と懇親会を行った。3 月に三部会交流会を設備部会、薬品部会、環境部会と共同で行い、町田浩一氏 (コラボ・コンサルト) の講演と懇親会を行った。

- ・ 技術委員会を 5 回開催した。2023 年機材工技術手帳の掲載内容を大幅に見直した。11 月に青年会と共催で量子科学研究開発機構那珂研究所を 12 名で訪問し核融合発電に関する技術研修会を行った。SURTECH2023 と同時開催の「新製品・新技術発表講演大会 (2 月 1 日)」では、5 件の講演を行い、会場 24 名、オンライン 16 名が受講した。

- ・ 環境対策委員会を 7 回開催した。2023 年機材工技術手帳の各種規制値に関する掲載内容を改訂した。また、書籍販売している「めっき排水処理施設の標準仕様指針 (改訂第 6 版)」を 12 月に発行した。SURTECH 2023 と同日開催の「環境セミナー (2 月 2 日)」は、会場 7 名、オンライン 10 名が受講した。

- ・ 国際委員会を 1 回開催し、2023 年度事業活動を審議した。

- ・ 情報委員会を 6 回開催した。技術手帳の製作販売 (5,800 冊販売) と機材工誌を発行した。機材工誌は 4 月から全鍍連傘下のめっき加工業者に無料配布を開始した。SURTECH 2023 ではコンセプト

トゾーンで SDGs の取り組みをパネルとモニターを使って展示した。

- ・ 青年会を 3 回開催した。技術委員会と共催で 11 月に技術研修会を開催した。SURTECH 2023 と同時開催の「なぜなぜシリーズ第 16 弾 (2 月 3 日)」は、設備メンテナンスの講演を新たに企画し会場 17 名、オンライン 27 名が受講した。

部会の主な活動の概要は次の通りであった。

- ・ 設備部会は、販売統計調査を 5 月から開始し、9 月に中間報告としてまとめ、9 月の販売動態検討会で報告した。部会を三部会交流会の際に 1 回行った。生産性向上要件証明書の認証に 5 名の委員で審査に協力した。

- ・ 薬品部会は、薬品統計調査分科会を 6 月に行った。例年 8 月に開催する薬品部会は中止とし、令和 3 年度部会収支決算報告、令和 3 年度 薬品生産動態集計結果報告および内容検討を会員に配信して完了した。三部会交流会では来年度の役員を決め、機材工誌への投稿についてルールを決定した。

- ・ 環境部会は、例会を 1 月に Web 開催、3 月に対面で行った。第 1 回例会では、環境設備動態調査と事業活動報告、三部会交流会の企画と役割分担等について報告した。第 2 回例会は、SURTECH2023 の報告と共有、2022 年度活動報告と会計報告、2023 年度事業計画を確認した。

表面処理団体協議会の活動概要は次の通りであった。

表団協の幹事は表面技術協会が行い、表団協運営委員会を 3 回開催した。第 39 回代表者会議 (8 月 4 日)、第 20 回産官学情報交換会 (11 月 7 日)、第 19 回表団協セミナー (2 月 3 日) を行った。

1. 総会

◇ 定時総会

日時：2022年6月3日（金） 15時00分～15時40分

場所：プレマビル 4階会議室

東京都中央区日本橋茅場町 2-13-8

出席会員数	総会員数	61名
	出席会員数	49名
	内訳 本人出席	7名
	議決権行使書	42名
	総会員の議決権数	61個
	出席会員の議決権数	49個

議長 理事（副会長） 中川 武

出席役員	理事 中川 武	理事 山本 渡
	理事 野坂秀夫	理事 山口伸一郎
	理事 松田武雄	監事 井上 繁

議事の経過の要領及び結果

1. 開 会

定刻に司会者の山口伸一郎総務委員長は2022年度定時総会を開催する旨を宣し、中川 武副会長の挨拶ののち、定時総会の出席者が定款第17条に定める議決権を有する構成員数の2分の1以上であり、定時総会が有効に成立したことを報告した。

2. 議長選出

司会者は定款第15条および定款21条の定めにより中川 武副会長を本定時総会の議長とする旨を宣し中川 武副会長を議長に選出した。

同氏は、これを了承し議長となった。

3. 議事録署名人選出

議長は、議案審議に先立ち、議事録署名人2名について山本 渡副会長と野坂秀夫専務理事を指名し両氏もこれを承諾した。

4. 議 事

第1号議案 2021年度事業報告及び2021年度収支決算の承認を求める件

議長は、山口総務委員に2021年度における事業の状況を事業報告書、収支決算の状況を収支決算書により詳細に説明させ、その承認を求めた。

次いで、井上監事は、これらの書類を綿密に調査したところ、いずれも正確かつ適正であることを

認めた旨を報告した。

これを議場に諮ったところ、定時総会出席者は、別段の異議なく第1号議案を承認した。

第2号議案 2022年度事業計画及び2022年度収支予算書類の承認を求める件

議長は、山口総務委員長に2022年度における事業計画を事業計画書(案)、収支予算を収支予算書(案)により詳細に説明させ、その承認を求めた。

これを議場に諮ったところ、定時総会出席者は、別段の異議なく第2号議案を承認した。

5. 閉 会

以上をもって、一般社団法人 日本表面処理機材工業会 2022年度定時総会の議事をすべて終了したので、議長は議場にその協力を謝し、15時40分、司会者山口伸一郎総務委員長が閉会を宣言した。

2. 理事会

◇ 第1回 理事会

日 時：2022年5月16日（月）15時00分～15時45分

方 式：Web会議、 出 席：理事17名、監事2名

理事会に先立ち、Web会議の出席者の通信状況を確認し、理事会を行うにふさわしい通信状況が出来ていることを事務局が確認した。

定刻に野坂専務理事は、2021年度第5回理事会を開催する旨を宣し、構成員24名中17名 が出席し、定足数を満たし本理事会が成立したことを報告した。

続いて後藤会長が議長となり、開会のあいさつを行い議事の審議に入った。

<審議事項>

第1号議案 協賛の件

議長は下記の協賛依頼について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議無く承認された。

- ・表面技術協会 将来めっき技術検討部会 第49回例会

第2号議案 2022年度定時総会の開催について

議長は 2022 年度定時総会の開催方法と議案について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議なく承認された。

(1) 開催方法

日 時：6月3日（金）15時～16時

場 所：プレマビル4階会議室

その他：新型コロナウイルス感染防止のため昨年と同様に出席者を最小限とする

(2) 議案

第1号議案 2021年度事業活動報告及び収支決算書案承認の件

第2号議案 2022年度事業計画及び収支予算案承認の件

<報告事項>

各委員会、各部会および事務局から活動状況の報告があった。

◇ 第2回 理事会

日 時：2022年7月27日（水）11時00分～11時45分

方 式：Web会議、 出 席：理事17名、監事2名

理事会に先立ち、Web 会議の出席者の通信状況を確認し、理事会を行うにふさわしい通信状況が出来ていることを事務局が確認した。

定刻に野坂専務理事は、2022年度第2回理事会を開催する旨を宣し、構成員24名中17名 が出席し、定足数を満たし本理事会が成立したことを報告した。

続いて後藤会長が議長となり、開会の挨拶を行い議事の審議に入った。

<審議事項>

第1号議案 協賛の件

議長は下記の協賛依頼2件について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議無く承認された。

- ・表面技術協会 夏季セミナー〈講義・見学・実習〉“ドライプロセスの基礎と薄膜作製”
- ・表面技術協会 夏季実習セミナー“めっき液の分析と管理”

第2号議案 就業規則改定

議長は、就業規則第3章の改定について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議なく承認された。

- ・第7条 第1項として下記の内容を加える。

「職員の勤務場所は、一般社団法人日本表面処理機材工業会事務局（東京都中央区日本橋茅場町2-13-8 プレマビル2階）とする。勤務環境の状況に応じて、会長あるいは専務理事の指示により在宅

で勤務する。」

- ・第8条に下記を加える。

「(6) 夏季休暇は、土日祝日を除く3日間とし総務委員会で日程を決定し、理事会に報告する。」

- ・第9条3項を削除する。

- ・第11条に3項を加え、(5)を削除する。

「3 会長あるいは専務理事は、特段の事情がある場合には職員に特別休暇を与えることがある。」

「(5) 前各号のほか本会が必要と認めたとき。必要な期間」

第3号議案 経営研修会について

経営研修会は実施を前提として実施方法を総務委員会および事務局にて検討し、次回理事会にて審議する。なお、理事会は経営研修会とは異なる日時に開催する。

<報告事項>

各委員会、各部会および事務局から活動状況の報告があった。

◇ 第3回 理事会

日時：2022年9月29日(木) 11時00分～12時00分

方式：Web会議、出席：理事21名、監事2名

理事会に先立ち、Web会議の出席者の通信状況を確認し、理事会を行うにふさわしい通信状況が来ていることを事務局が確認した。

定刻に野坂専務理事は、2022年度第3回理事会を開催する旨を宣し、構成員24名中21名が出席し、定足数を満たし本理事会が成立したことを報告した。

続いて後藤会長が議長となり、開会の挨拶を行い議事の審議に入った。

第1号議案 協賛の件

議長は下記の協賛依頼4件について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議無く承認された。

- ・N-PLUS

- ・表面技術協会 第24回関西表面技術フォーラム

- ・表面技術協会 将来めっき技術検討部会 第50回例会

- ・表面技術協会関西支部 及び日本表面真空学会関西支部 共催 表面科学技術研究会 2023

第2号議案 経営研修会について

議長は、総務委員会にて検討された経営研修会の実施要領について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議なく承認された。

<経営研修会実施内容>

日時：11月18日(金) 15時00分～18時30分

場所：アルカディア市ヶ谷

講演会：株式会社クボタ 理事、人事・総務本部副本部長 総務部長 山神 孝志氏

「チームを創る ～スポーツの持つ力とは何か、RWC2019 日本大会から感じたこと」

<報告事項>

会長、専務理事より第1回 職務執行状況報告書の報告、各委員会、各部会および事務局から活動状況の報告があった。

◇ 第4回 理事会

日時：2022年12月1日(木) 15時30分～16時30分

方式：ハイブリッド(機材工事務局、Web)、出席：理事14名、監事1名

理事会に先立ち、オンライン出席者の通信状況を確認し、理事会を行うにふさわしい通信状況が出来ていることを事務局が確認した。

定刻に野坂専務理事は、2022年度第4回理事会を開催する旨を宣し、構成員24名中14名が出席し、定足数を満たし本理事会が成立したことを報告した。

続いて後藤会長が議長となり、開会の挨拶を行い議事の審議に入った。

第1号議案 協賛の件

議長は下記の協賛依頼1件について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議無く承認された。

- ・表面技術協会 将来めっき技術検討部会 第51回例会（2023年1月24日開催）

第2号議案 三部会交流会実施概要について

議長は、総務委員会にて検討された経営研修会の実施要領について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議無く承認された。

＜基本方針＞

2022年度の三部会交流会は、新型コロナウイルス感染対策を徹底した上で開催する。

＜実施内容＞

日 時： 2023年3月10日(金) 13時～19時

場 所： プラザエフ

開催方法： 対面での開催としオンライン配信は行わない

講演会： 町田 浩一氏に講演依頼する

懇親会： 経営研修会における懇親会と同等以上の感染対策を施す

幹 事： 環境部会

第3号議案 役員候補者推薦委員会委員の選任

議長は、役員候補者推薦委員会の委員候補者11名について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議無く承認された。

＜報告事項＞

各委員会、各部会および事務局から活動状況の報告があった。

◇ 第5回 理事会

日 時：2023年2月7日（火）16時00分～16時45分

場 所：Web会議、 出 席：理事18名、監事2名

理事会に先立ち、オンライン出席者の通信状況を確認し、理事会を行うにふさわしい通信状況が出来ていることを事務局が確認した。

定刻に野坂専務理事は、2022年度第5回理事会を開催する旨を宣し、構成員24名中18名が出席し、定足数を満たし本理事会が成立したことを報告した。

続いて後藤会長が議長となり、開会の挨拶を行い議事の審議に入った。

＜審議事項＞

第1号議案 協賛の件

議長は下記の協賛依頼2件について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議無く承認された。

- ・表面技術協会 将来めっき技術検討部会 第52回例会（5月22日開催）
- ・電子機器トータルソリューション展 2023（5月31日～6月2日開催）

第2号議案 2023年度予算策定の前提について

議長は、総務委員会にて検討された2023年度予算策定の前提となる事項について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議なく承認された。

- ・総会の開催方法：新型コロナ感染前と同様の方式で開催する。
- ・(一社)日本化学工業協会の退会：2022年度末をもって退会する。

<報告事項>

各委員会、各部会および事務局から活動状況の報告があった。

SURTECHの今後の取り組みについて、表団協としてコンセプトゾーンを企画・運営する方針を確認した。

◇ 第6回理事会

日時：2023年3月29日(水) 14時30分～15時46分

場所：Web会議、出席：理事14名 監事1名

理事会に先立ち、オンライン出席者の通信状況を確認し、理事会を行うにふさわしい通信状況が来ていることを事務局が確認した。

定刻に野坂専務理事は、2022年度第6回理事会を開催する旨を宣し、構成員24名中14名が出席し、定足数を満たし本理事会が成立したことを報告した。

続いて後藤会長が議長となり、開会の挨拶を行い議事の審議に入った。

<審議事項>

第1号議案 協賛の件

議長は、協賛依頼1件について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議なく承認された。

- ・エヌプラス(N-Plus) 2023(9月13日～15日)

第2号議案 2023年度概算予算について

議長は、第5回理事会で決議された前提に基づいて策定された2023年度概算予算について、事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議なく承認された。

第3号議案 2023年度理事会スケジュールについて

議長は、2023年度理事会スケジュール案について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議なく承認された。

第4号議案 2023年度事務局職員雇用契約更新について

議長は、2023年度事務局職員の雇用契約更新について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議なく承認された。

第5号議案 役員候補者推薦委員会委員選任について

議長は、役員候補者推薦委員会委員1名の離任に係る、薬品部会から1名の選任について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議なく承認された。

<報告事項>

会長及び専務理事の2022年度第2回職務執行状況報告書が報告された。

委員会、部会、事務局から活動状況の報告があった。

3. 事業活動

3-1. 委員会

(1) 総務委員会

◇ 第1回 総務委員会

日 時：2022年05月26日（木）15時00分～16時30分

場 所：ハイブリッド（事務局会議室+Web会議） 出 席：8名

議 題

1. 定時総会関連（式次第、役割分担、他）

6月3日（金）15：00～16：00 プレマビル4階で行う。

2. 規則、規定の見直しについて

下記の①～③を第2回理事会にて審議する。

- ① 特別休暇の設定について 「会長あるいは専務理事は、特段の事情がある場合には、職員に特別休暇を与えることがある」（第11条3項を追加）
- ② 夏季休暇について 「夏季休暇は、土日祝日を除く3日間とし、総務委員会にて決定する。（理事会にて報告を行う）（第8条6項を追加）
- ③ 第9条 3 全文削除

3. 総務委員会 管轄行事について（各会合など対面での開催にむけて）

機材工資機材 生産・販売調査検討会準備

経営研修会（例年11月） 11/4、11/11、11/18、11/25、の4候補にて調整する。

◇ 第2回 総務委員会

日 時：2022年7月12日（金）15時00分～16時30分

場 所：ハイブリッド（事務局会議室+Web会議）、 出 席：8名（会議室2名、Web6名）

議 題

1. 定時総会報告 実施報告

2. 規則、規定の見直しについて

- ① 就業規則改定 次回理事会（7/27）にて総務委員会で決定の3項目について審議依頼を行う。
・特別休暇の件 ・夏季休暇の件 ・女性職員の時間外勤務の件
- ② 「無期転換雇用」について参考に他団体の対応状況ヒアリング

3. 経営研修会（都内開催）について

三役の日程調整及びプラザエフの空き状況問い合わせの結果、候補日11月18日（金）と決定した。

4. 役員候補推薦委員会

2023年度は役員改選年度となるので、12月に推薦委員会を立ち上げる。

5. その他 情報交換

・機材工資機材 生産・販売調査検討会準備（9月中旬開催）開催案内の件

◇ 第3回 総務委員会

日 時：2022年9月13日（火）13時00分～15時00分

場 所：Web会議、 出 席：10名

議 題

1. 経営研修会（都内開催）について

11月18日（金）開催日程決定。（開催概要について理事会で審議決定）

- (1)開催会場は費用、広さなどからアルカディア市ヶ谷とする。
- (2)経営研修会開催時間は下記とする。講演会 15：00～16：30、懇親会 16：30～18：30
- (3)懇親会は着座形式、料理コースは、「秋の個食盛り」とする。
- (4)経営研修会参加費は価格改定する。
- (5)オンライン配信は見送る。
- (6)講演会講師（株）クボタ 山神孝志氏 に決定。

◇ 第4回 総務委員会

日 時：2022年11月11日（金）15時00分～17時00分

場 所：Web会議、 出 席：8名

議 題

1. 経営研修会（アルカディア市ヶ谷）開催実績報告

参加申者 講演会 46名//懇親会 43名

2. 三部会交流会（2023年3月10日 プラザエフ）開催の件

理事会への議案として、開催の可否、懇親会の方式など審議頂く。

3. 役員候補推薦委員会委員の選任について

◇ 第5回 総務委員会

日 時：2023年1月18日（水）15時00分～17時00分

場 所：Web会議、 出 席：7名

議 題

1. 三部会交流会（プラザエフ）の準備進捗

各部会への開催案内及び賛助会員、上記理事への参加募集を1月23日に開始する。

2. 2023年度定時総会開催について（6月2日（金）アルカディア市ヶ谷）

対面での開催で懇親会を行う。次回理事会にて確認する。

3. 第3号議案 2023年度事業計画について

2022年度と同様の内容とする。

◇ 第6回 総務委員会

日 時：2023年3月15日（水）15時00分～17時00分

場 所：機材工事務局会議室、 出 席：6名

議 題

1. 2023年度機材工カレンダーについて

8月夏季休暇の日程は、14日(月)、15日(火)、16日(水)の3日間とする。

2. 三部会交流会報告（プラザエフ、3月10日(金)）

開催状況報告 参加者数 講演会 49名、懇親会 47名

3. 2023年度定時総会について (6月2日(金)、アルカディア市ヶ谷)

第5回理事会にて、対面での開催、懇親会開催が決定した。

4. その他

2023年度経営研修会については、都内開催とし施設見学なども視野に入れつつ今後調整を計る。情報委員会で検討されている SURTECH2024 のミニブースの紹介があった。

(2) 技術委員会

◇ 第1回 技術委員会

日時：2022年6月17日(金) 16時00分～17時00分

方式：ハイブリッド(事務局会議室+Web会議)、出席：4名

議題

1. 技術手帳の担当について

技術委員会の担当ページで修正の必要があるか次回委員会までにチェックする。

2. 秋の研修会に向けて

候補は2件提案されたが、那珂研究所の核融合発電を第1候補とし、10月～11月に開催する。技術委員会と青年会に参加募集する。

3. 新製品・新技術講演会の次回開催に向けて

SURTECH2023開催は、2023年2月1日(水)に前回と同様、オンライン配信を行う。

◇ 第2回 技術委員会

日時：2022年9月2日(金) 15時30分～16時40分

方式：ハイブリッド会議、出席：8名

議題

1. 秋の研修会について

開催日は11月9日(水)とする。技術委員会と青年会の共催とする。

2. 技術手帳の改定について

技術委員が分担箇所をチェックし確認した。

3. 新製品・新技術講演会の開催について

名称：～聞いて良かった 知って得した～ 表面処理 新製品・新技術講演会

方式：会場 及び オンライン(聴講無料、テキスト代3,000円)

日時：2023年2月1日(水) 13時20分～16時00分(8講演の場合)

会場：会議棟101号室

聴講者：最大100名(会場60名、オンライン40名)

講演数：8～10件

講演料：33,000円/件(税込)

◇ 第3回 技術委員会

日時：2022年10月21日(金) 13時00分～13時50分

方式：Web会議、出席：8名

議題

1. 秋の研修会について

2. 新製品・新技術講演会の開催に向けて

◇ 第4回 技術委員会

日時：2022年12月16日（金）15時30分～16時20分

場所：Web会議、出席：7名

議題

1. 新製品・新技術講演会の開催について

5講演数とする。

2. 2023年度の事業活動

技術委員会としては例年と同様に下記の事業活動を行うこととする。

- ・新製品・新技術講演会1回、研修会1回

◇ 第5回 技術委員会

日時：2023年2月22日（水）16時00分～17時00分

場所：Web会議、出席：6名

議題

1. 新製品・新技術講演会のアンケート結果解析と次年度の準備

- ・Google formによりアンケートを行い、受講者38名中11名から回答を得た。
- ・講演会は概ね好評であった。

2. 2023年度計画について

<2023年度事業計画>

(1) 表面処理関連技術の調査・研究（技術の調査・研究事業）

表面処理技術及び関連技術について、将来のニーズに関する技術を調査・研究すると共に、会員が開発した新技術を調査して表面処理市場への普及を図る。技術調査の為研究機関への視察見学を行う。

(2) 技術講演会の開催（普及及び啓発事業）

表面処理資機材の新技術開発及び普及を図るために技術講演会を年1回以上開催する。

(3) 表面処理資機材の安全対策（技術の調査・研究事業）

委員会の活動にホームページ情報ページの掲載内容の見直しを加える。

(3) 環境対策委員会

◇ 第1回 環境対策委員会

日時：2022年4月22日（金）15時00分～16時30分

方式：Web会議、出席：7名

議題

1. 2022年度事業計画

- (1) 新環境基準項目に伴う排水規制への対応（環境保全のための技術調査及び普及事業）
3物質（フッ素、ホウ素、窒素）及び亜鉛の規制などに対応するための技術の調査。
 - (2) 水と資源のリサイクル化に関する技術の調査・研究（環境保全のための技術調査及び普及事業）
水のリサイクル技術などを調査し、表面処理資機材業界への普及を図る。
 - (3) 環境や法規制等に関するテーマにて表面処理業界への広報活動を行う。（環境保全のための技術調査及び普及啓発事業）
- ##### 2. 環境セミナー

3. 技術手帳の掲載内容見直し

◇ 第2回 環境対策委員会

日時：2022年6月17日（金）14時30分～15時30分

方式：Web会議、出席：5名

議題

1 機材工技術手帳の担当箇所

環境委員会の担当ページで修正の必要があるか次回委員会までにチェックする。

2 「めっき排水処理施設の標準仕様指針」見直しについて

SURTECH2023（2023年2月2日予定）のセミナーまでに見直し配布できるようにする。

3 環境セミナーのテーマ

日時：2023年2月2日（木）

テーマ：「環境にやさしい薬品」 多少宣伝が入っても良いが 包括的な話をしていただく。

発表者：齋藤委員、早船委員、飯島委員に講演できるか検討いただく。

講演数：2～3講演

◇ 第3回 環境対策委員会

日時：2022年8月26日（金）15時00分～16時40分

方式：Web会議、出席：10名

1. 機材工技術手帳の内容修正について

2. 「めっき排水処理施設の標準仕様指針」見直しについて

3. 環境セミナーについて

◇ 第4回 環境対策委員会

日時：2022年10月21日（金）15時00分～17時00分

方式：Web会議、出席：9名

議題

1. 「めっき排水処理施設の標準仕様指針」見直しについて

原稿は10月21日時点ですべて入稿済。最終グラが出来上がってから査読する。

2. 環境セミナーについて

名称 環境セミナー 「環境にやさしい薬品・排水処理技術の基本・最新海外環境規制」

方式 会場+オンライン配信（申込者にZoomのURL通知）

日時 2023年2月2日（木）13時20分～16時45分

会場 東京ビッグサイト 会議棟101会議室

講演 6講演（総時間200分；13時20分～16時40分）

開会挨拶（倉持委員長）（10分）

環境にやさしい薬品（60分）

2-1 低環境負荷リサイクルエッチング液（メルテックス）（30分）

2-2 環境にやさしいめっき技術（上村工業／石田哲司）（30分）

排水処理技術の最前線（90分）

3-1 亜鉛処理（日本フィルター／宮川）

3-2 フッ素・ホウ素処理（日本ワコン／清水 健）

3-3 窒素・リン処理（中川化学装置／倉持 貴之）

最新海外環境規制（30分）

4-1 中国・タイ・フィリピンの環境規制（クボタ環境エンジニアリング）

聴講者数 100名（見込み） 会場 60名＋オンライン 40名

申し込み 事前登録＋当日登録（会場）、事前登録（オンライン配信）

◇ 第5回 環境対策委員会

日時：2022年11月22日（火） 15時00分～16時00分

方式：Web会議、 出席：8名

議題

1. 「めっき排水処理施設の標準仕様指針」見直しについて

11月中を目処に再査読チェックする。修正箇所を事務局責任で修正する。

2. 環境セミナーについて

◇ 第6回 環境対策委員会

日時：2023年1月20日（金） 15時00分～16時00分

方式：Web会議、 出席：8名

議題

1. 「めっき排水処理施設の標準仕様指針」改訂版発行について

12月末に200部製作した。9社から広告をいただいた。

2. 環境セミナーについて

講演会当日の役割決定。

◇ 第7回 環境対策委員会

日時：2023年3月17日（金） 15時00分～16時00分

場所：Web会議、 出席：4名

議題

1. 環境セミナーのアンケート集計結果と次回の開催について

会場での受講者は増加したが（0名→7名）、総数は前年を下回った。

講演と講演の間で裏方の意味のない画面が現れていたため、工夫が必要。

ぶらっと立ち寄っても受講できるようなことも検討する。

2. 2023年度事業計画

2023年度の事業計画は2022年度と同様とする。

(1) 新環境基準項目に伴う排水規制への対応（環境保全のための技術調査及び普及事業）

3物質（フッ素、ホウ素、窒素）及び亜鉛の規制などに対応するための技術の調査。

(2) 水と資源のリサイクル化に関する技術の調査・研究（環境保全のための技術調査及び普及事業）

水のリサイクル技術などを調査し、表面処理資機材業界への普及を図る。

(3) 環境や法規制等に関するテーマにて表面処理業界への広報活動を行う。（環境保全のための技術調査及び普及啓発事業）

(4) 国際委員会

◇ 第1回 国際委員会

日時：2023年3月27日（月） 15時00分～16時00分

場所：ハイブリッド、 出席：5名

議 題

1. 2023 年度事業計画について

国際委員会の 2023 年度事業計画は下記とする。

- (1) 海外に関連する事業（関係機関との交流及び協力事業）
- (2) 海外視察の立案と実施

(5) 情報委員会

◇ 第 1 回 情報委員会

日 時：2022 年 05 月 19 日（木）10 時 00 分～12 時 00 分

方 式：Web会議、 出 席：6名

議 題

1. 機材工誌 夏季号（163 号）掲載内容の準備（7 月 25 日発刊予定）

- ・表紙の写真：橋本社長へ依頼 ・2022 年定時総会 報告 ・巻頭言：後藤会長 ・寄稿 内容省略
- ・委員長対談：日本カニゼン、三進製作所で調整 ・会員企業紹介 内容省略
- ・一般広告 募集を広く募集 ・名刺広告

2. 機材工誌 掲載記事について

ユーザー向けの掲載内容を検討する。

3. 機材工技術手帳 2023 年度更新について

- ・「年齢 西暦 和暦 早見表」を追加する。 ・表紙の材質変更を検討する。

4. ホームページ更新について 5 月 2 日更新済

◇ 第 2 回 情報委員会

日 時：2022 年 8 月 1 日（月）10 時 30 分 ～ 12 時 00 分

方 式：Web会議、 出 席：8名

議 題

1. 機材工誌 秋号（164 号）掲載内容の準備（10 月 25 日発刊予定）

- ・表紙の写真：奥野氏に伺う ・巻頭言：山口氏 ・委員会報告：事務局にて作成
- ・委員長対談：柳下氏（内諾済み） ・会員企業紹介 内容省略 ・一般広告 掲載広告募集継続
- ・機材工ホームページアドレス表記 <https://www.kizaikou.or.jp>
- ・編集後記を新たに設け情報委員会委員が順番に執筆

2. 表面技術要素展 SURTECH2023 コンセプトゾーン テーマ設定と展示内容について

3. 技術手帳 2023 年版

9 月中に校了し 11 月中旬に発送目処とする。

表紙の材質、質感、の変更を行う。

◇ 第 3 回 情報委員会

日 時：2022 年 10 月 4 日（金）13 時 30 分 ～ 15 時 00 分

方 式：ハイブリッド会議、 出 席：7名

議 題

1. 機材工誌 冬季号（165 号）掲載内容の準備（2023 年 1 月 25 日発刊予定）

- ・表紙の写真：野坂委員　・年頭所感：後藤会長　・寄稿 省略　・委員会報告：事務局
- ・委員長対談：山口委員長　・会員企業紹介 内容省略　・お知らせ：事務局
- ・一般広告と名刺広告：ホームページに広告募集を掲載　・編集後記：梅田副委員長

2. 表面技術要素展コンセプトゾーンのテーマ設定と展示内容について

部会別、SDGs 取り組みと提案パネル展示。(5 枚)

機材工の紹介パネル、部会、賛助会員の紹介パネル (4 枚)

CO₂ 排出量試算や機材工紹介のスライドショーなど、モニター (50 型) 展示

◇ 第 4 回 情報委員会

日 時：2022 年 12 月 2 日 (金) 13 時 30 分 ~ 15 時 00 分

方 式：Web 会議、 出 席：6 名

議 題

1. 機材工誌 春号 (166 号) 掲載内容の準備 (2023 年 4 月 25 日発刊予定)

- ・表紙の写真：橋本社長に打診　・巻頭言：野坂専務理事　・寄稿 内容省略
- ・委員会報告：事務局にて　・委員長対談 青木氏　・会員企業紹介 内容省略
- ・お知らせ：事務局にて　・編集者後記：岡委員

2. 表面技術要素展、SURTECH2023 コンセプトゾーンのテーマ設定と展示内容について

◇ 第 5 回 情報委員会

日 時：2023 年 1 月 19 日 (木) 13 時 00 分 ~ 15 時 00 分

方 式：ハイブリッド (事務局会議室、Web 会議)、 出 席：5 名

議 題

1. SURTECH2023 コンセプトゾーン出展について

説明員と出展内容について最終確認。

2. 機材工誌 春号記事の進捗について

委員長対談：青木氏で調整中

関東学院大学 梅田先生に寄稿「樹脂へのクロム前処理の代替技術、・高速めつき」を依頼する。

3. 2023 年度の事業計画について

2022 年度と同様とする。

◇ 第 6 回 情報委員会

日 時：2023 年 3 月 14 日 (火) 15 時 00 分~17 時 00 分

場 所：ハイブリッド (事務局会議室、Web 会議)、 出 席：8 名

議 題

1. 表面技術要素展 SURTECH2023 実施報告

来場者数 2 月 1 日(水)：8,635 名、2 月 2 日(木)：10,750 名、2 月 3 日(金)：11,734 名

コンセプトゾーンの全鍍連関連展示は好評であった。2024 開催に向け出展拡大が予想され機材工会員の出展にも訴求効果が期待される。

2. 機材工 夏季号 (167 号) 準備 (2023 年 7 月 25 日 発刊予定)

- ・表紙の写真：全鍍連へ写真公募を計る（機材工誌に広告掲載） ・巻頭言：後藤会長
- ・寄稿 内容省略 ・委員長対談：橋本氏（記事作成委員の氏名記載）
- ・会員企業紹介 内容省略 ・定時総会・理事会・委員会報告：事務局 ・お知らせ：事務局
- ・一般広告状況：A5 広告 6 社、A4 広告 15 社、特別広告 3 社
- ・夏暑中見舞広告募集：メールでの問い合わせとし、名刺広告原稿 PDF を添付
- ・編集者後記：中村委員

3. その他 SURTECH2024 関連

- ・全鍍連と同様に機材工会員へのミニブース展示を検討する。（機材工会員向けアンケート準備）
- ・次回 SURTECH2024 では、会議棟が改修のため講演会が開催出来ないのので、新製品・新技術講演会のコンセプトゾーンでの開催を検討する。

(6) 青年会

◇ 第 1 回 青年会

日 時：2022 年 4 月 12 日（火）15 時 00 分～16 時 20 分

方 式：Web会議 出 席：7名

議 題

1. なぜなぜ講演会の総括と次回開催に向けて

SURTECH との同時開催、また東京以外で研修会とセットで行う講演会の方法を検討継続する。

2. 2022 年度事業計画

(1) 研修会の開催（普及及び啓発事業）

青年会を中心に若手会員による研修会を 1 回以上開催し、次世代経営情報や人材育成の推進を図る。

(2) 講演会の開催（普及及び啓発事業）

やさしい技術解説を中心とした講演会（なぜなぜシリーズ）を東京含め 2 回程度実施。東京会場 表面技術要素展（SURTECH 2023）開催期間とする。

◇ 第 2 回 青年会

日 時：2022 年 10 月 13 日(木) 13 時 00 分～14 時 40 分

方 式：Web会議 出 席：7名

議 題

1. 秋の研修会（技術委員会と共催）について

研修先：量子科学技術研究開発機構 那珂研究所

日 時：11 月 9 日(水) 13 時 30 分～15 時 30 分

参加費：無料（交通費・食事代自己負担）・暫定（参加人数により変更の可能性あり）

定 員：約 15 名

2. なぜなぜ講演会 第 16 弾について

名 称：今さら聞けない!! めっきの基礎・装置の基礎 ～なぜなぜシリーズ第 16 弾～

方 式：会場+オンライン配信

日 時：2023 年 2 月 3 日(金)13 時 20 分～16 時 50 分（会場は 12 時から借りている）

会 場：東京ビッグサイト 会議棟 101 会議室

講 演：橋沢代表が講演者・題目の案を次回委員会までに調整する

参加者数：160名（期待値） 内訳：会場100名＋オンライン60名

申し込み：前登録（会場、オンライン配信）

アンケート実施する：google form

参加費：6,000円 二人目から5,000円

宣伝：全録連経由で組合員にお知らせいただく

◇ 第3回 青年会

日時：2022年12月13日（火）13時30分～15時05分

方式：Web会議 出席：8名

1. なぜなぜ講演会 第16弾について

<講演題目と時間配分>

13時20分～13時30分 開会挨拶と注意事項 橋沢 憲一

13時30分～14時10分 めっき薬品の「なぜ？」 奥野製薬工業株式会社 未定

< 装置メンテナンスの「なぜ？」 >

14時10分～14時40分 整流器のメンテナンス

株式会社NF千代田エレクトロニクス 岩崎 景昌

14時40分～15時10分 ポンプのメンテナンス 株式会社ワールドケミカル 岩渕 崇
～休憩～ 10分

15時20分～15時50分 排水処理のメンテナンス 株式会社三進製作所 未定

15時50分～16時50分 ハルセルの「なぜ？」 株式会社山本鍍金試験器 秋山 勝徳

2. 2023年度の事業活動

機材工予算作成のため実施の可能性のある事業活動を洗い出す。

- ・なぜなぜ講演会 東京で行う。地方の講演会はSURTECH2023の集客状況をみて判断する
- ・研修会 ワールドケミカル

3-2. 部会

(1) 設 備 部 会 (設備部会 会長 野坂 秀夫)

◇ 販売統計調査

5月27日(金) 調査票配布 2021年4月～2022年3月末の販売実績
部会員28社中17社の回答(61%)

9月1日(木) 統計調査担当者分析検討会 webで実施

9月13日(火) 統計調査委員会(三部会の統計担当者と総務委員で構成)で発表と情報交換 web
で実施。10月発行の機材工誌秋季号にて発表

◇ 部会

2023年3月10日(金)13:00～14:20 プラザエフにて12名出席

1. 販売統計調査報告
2. 今年度活動報告
3. SURTEC2023開催報告
4. 次年度事業内容検討
5. 各自近況報告(3分間スピーチ)
6. 近況報告(3分間スピーチ)

◇ その他

生産性向上要件 証明発行団体として5名にて認証に協力

(2) 薬 品 部 会 (薬品部会 会長 石田 俊一)

◇ 薬品統計調査分科会(参加者7名)

日時 : 2022年6月28日(火)

場所 : 機材工 4F会議室にて、集計と結果内容の検討

*4月21日に表面処理関連薬品生産(販売)量調査表を会員企業29社に発送した。

*調査協力会員企業数 25社/29社より回答。

*25社の回答をもとに、令和3年度(2021年度)の薬品生産量、原料使用量、
原料価格について集計作業と結果内容の検討を行った。

*9月13日、表面処理資機材2021年度生産・販売統計調査検討会(Web)で
報告と情報交換。統計調査分科会メンバー3名で参加。

◇ 薬品部会(夏の例会) 中止

本来であれば夏の例会を開催して、下記の4議題を討議するはずであったが、
昨年同様中止となり、議題1および2の結果資料をメールで会員に配信(9/1)
して完了とした。

議題1 令和3年度部会収支決算報告

議題2 令和3年度薬品生産動態集計結果報告および内容検討

議題3 各委員会報告

議題4 各社、各参加者近況報告

◇ 薬品部会(三部会交流会)

日時 : 2023年3月10日(金)

場所 : 主婦会館プラザエフ

※薬品部会交流会(4Fシャトレ)13社、15名の参加

*来年度の役員について 部長:富士化学工業・遠藤氏、副部長:タイホー・山口氏、統
計:日本カニゼン・齋木氏、会計:ムラタ・倉田氏

*機材工誌への寄稿（めっき・表面処理工程におけるトラブルシューティング）
2月27日に行われた抽選会の結果を報告し、趣旨を理解して頂き、各会員の寄稿順を発表し協力を要請した。

*3年ぶりの対面顔合わせ。各社、各人の近況報告。

※三部会交流会（8F スイセン）

※三部会講演会（8F スイセン）

「表面処理業界におけるSDGs」 講師：町田浩一氏

※三部会懇親会（7F カトレア）12社、17名の参加

(3) 環境部会（環境部会 会長 中川 武）

◇ 設備納入実績調査

6月13日 調査表配布 ・期間：2021年4月～2022年3月 ・回答：7社／環境部会9社

7月29日 調査担当者による集約

8月03日 調査分科部会にて共有と分析

9月13日 統計調査委員会にて報告と情報交換

◇ 環境部会 第1回例会（参加者8名）

日時：2023年1月11日（水）

場所：Web会議

議題

1. 2021年度環境設備納入実績調査の結果と分析の共有
2. 三部会交流会の企画と役割分担
3. 理事会および環境対策委員会の報告
4. 出席各社の近況報告

◇ 環境部会 第2回例会（参加者6名）

日時：2023年3月10日（金）

場所：主婦会館 プラザエフ

議題

1. 2022年度活動報告および会計報告
2. 2023年度事業計画および予算案の確認
3. 理事会および環境対策委員会の報告
4. サーテック2023の報告と共有
5. 出席各社の近況報告

3-3. その他 機材工行事

◇ 経営研修会

日時 2022年11月18日(金) 15時30分～18時30分

会場 アルカディア市ヶ谷 5階大雪東(講演会)、4階鳳凰(懇親会)

出席 44名(講演会)、42名(懇親会)

講演 <<チームを創る>>

～スポーツの持つ力とは何か、RWC2019日本大会から感じたこと～

株式会社クボタ 人事・総務本部 副本部長 総務部長

元 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 ワールドカップ15人制強化副委員長

山神 孝志 氏

◇ 表面技術要素展 SURTECH 2023

日時 2023年2月1日(水)～3日(金)

場所 東京ビッグサイト 東5ホール 特別企画コンセプトゾーン

内容 機材工パネル展示 ～SDGsを表面処理で実現する～

薬品部会 「有害物質の削減」、「エネルギー削減」、「剥離技術」

設備部会 「生産性の向上」

環境部会 「省エネルギー達成へ」

機材工紹介 パネルと動画により

来場者

8,653名 (2月1日)

10,750名 (2月2日)

11,734名 (2月3日) 合計 31,137名

◇ 三部会交流会

日時 2023年3月10日(金) 15時20分～19時00分

場所 プラザエフ

出席 49名(講演会) 47名(懇親会)

講演 『表面処理業界におけるSDGs』 ～カーボンニュートラルに向けて～
コラボ・コンサルタント 代表 町田 浩一 氏

(一社)埼玉県中小企業診断協会 副会長

◇ 各委員会 講演会

- ・技術委員会 ～聞いて良かった 知って得した～ 表面処理新製品・新技術発表講演会

2023年2月1日(水) 東京ビッグサイト 101会議室

受講者 : 38名 (会場24名、オンライン14名)

- ・環境対策委員会 環境セミナー「環境にやさしい薬品、最新排水処理技術、海外環境規制動向」

2023年2月2日(木) 東京ビッグサイト 101会議室

受講者 : 17名 (会場7名、オンライン10名)

- ・青年会 今さら聞けない!! めっきの基礎・装置の基礎 ～なぜなぜシリーズ第16弾～

2023年2月3日(金) 東京ビッグサイト 101会議室

受講者 : 44名 (会場16名、オンライン28名)

3-4. 国内関連団体との交流

1. 東京都鍍金工業組合

なし

2. 愛知県鍍金工業組合

なし

3. 名鍍会

定時総会：2023年1月25日 後藤会長出席

4. 大阪府鍍金材料商業組合

新年賀詞交歓会：2023年1月11日 後藤会長出席

5. 全国鍍金工業組合連合会（全鍍連）

新春賀詞交歓会：2023年1月25日 野坂専務理事、吉田事務局次長出席

6. 日本鍍金材料協同組合

なし

7. 表面技術要素展 SURTECH 2023

2023年2月1日～2月3日 東京ビッグサイト東3ホール

8. 表面処理団体協議会（表団協）≪ 幹事団体：表面技術協会 ≫

第39回代表者会議（2022年8月4日）

第20回産官学合同会議（2022年11月7日）

第19回表団協セミナー（2023年2月3日）

9. 祝賀行事

なし